



VMware vSphere および vSphere with Operations Management

ライセンス、価格設定、およびパッケージ

ホワイト ペーパー

目次

エグゼクティブ サマリー	3
VMware vSphere および vSphere with Operations Management の概要 ..	3
ライセンスの概要	3
VMware vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 の ライセンス体系：プロセッサ単位	3
ライセンス管理	4
ホスト別ライセンス管理オプション	4
例：新しいホストへの vSphere with Operations Management 6.2 ライセンスの適用	4
パッケージの概要	4
vSphere および vSphere with Operations Management の各エディション	4
VMware Integrated OpenStack	5
VMware vSphere Hypervisor	5
VMware vSphere Desktop	5
vSphere および vSphere with Operations Management Acceleration Kit	6
VMware vSphere Essentials Kit	6
VMware vSphere Remote Office Branch Office	7
vCenter Server のエディション	7
既存のお客様へのバージョン アップグレードの提供	8
エディションの有償アップグレード	8
FAQ	8
購入方法	10
詳細情報	10

エグゼクティブ サマリー

このガイドでは、VMware vSphere 6 および VMware vSphere with Operations Management 6.2 のライセンス、価格設定、およびパッケージについて概説します。主な項目は次のとおりです。

- VMware vSphere および vSphere with Operations Management の概要
- ライセンスの概要：ライセンス体系とライセンス管理
- パッケージの概要：エディション (VMware vCenter Server™ を含む) およびキットのパッケージ オプション
- 既存のお客様へのバージョン アップグレードの提供
- VMware vSphere 6 および VMware vSphere with Operations Management 6.2 のエディションへの有償アップグレード

VMware vSphere および vSphere with Operations Management の概要

vSphere は、仮想データセンターのための一貫した管理機能を備えた、業界をリードするサーバ仮想化プラットフォームです。強力なサーバ仮想化、革新的な可用性、安全な自動管理機能、および使用環境に応じたインテリジェントな運用情報により、カスタマイズ可能な事前設定テンプレートに基づいて、ワークロードの配置やリソースの最適化を自動的に行うことで、導入初日からビジネス上のメリットを実現できます。

vSphere with Operations Management では、パフォーマンスの監視とキャパシティの管理という重要な運用機能が強化され、最も信頼性の高い仮想化プラットフォームの構築が可能です。企業規模を問わず、高いサービス レベルでアプリケーションを実行し、キャパシティ使用率および統合率を高めることで、ハードウェアのコストを最大限削減できるように設計されており、統合コンソールから仮想環境の状況を詳細に確認し、パフォーマンスの問題を事前に特定および修正して、リソースの使用を最適化することができます。また、vSphere 単体で使用するよりも、お客様に大きなメリットを提供し、平均してアプリケーションのダウンタイムを 36 % 削減して、ハードウェア リソースを 30 % 節約できるほか、トラブルシューティングの時間は 26 % 短縮されます¹。

1. 出典：Management Insight Technologies 社、2014 年、『The Benefits of VMware's vCenter Operations Management Suite: Quantifying the Incremental Value of the vCenter Operations Management Suite for vSphere Customers』

ライセンスの概要

VMware vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 のライセンス体系：プロセッサ単位

vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 のライセンスは、プロセッサ単位で付与されます。vSphere または vSphere with Operations Management を実行するには、サーバの物理プロセッサ (CPU) ごとに、1 つ以上プロセッサ ライセンスキーが割り当てられている必要があります。vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 のライセンス キーは、vSphere 4.x、vSphere 5.x、および vSphere with Operations Management 5.x のライセンス キーと同様に購入、展開、および管理できます。

物理リソースに関する制限なし

vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 では、物理コア数や物理メモリの容量に制限はありません。

仮想マシン数の制限なし

適切にライセンスが付与された vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 プロセッサ上で稼動する仮想マシンの台数に制限はありません。

仮想デスクトップ環境向けの VMware vSphere 6

VMware vSphere Desktop は、vSphere の仮想デスクトップ向けライセンスです。vSphere Desktop は、仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) 環境の仮想化プラットフォーム用としてのみ、View またはサードパーティ製コネクション ブロカーと併用できます。詳細については、「パッケージの概要」セクションを参照してください。

単一のライセンスで 2 コンポーネントを使用可能

VMware vSphere with Operations Management 6.2 は、vSphere と VMware vRealize™ Operations™ Standard という 2 つのコンポーネントが組み合わされた単体製品として提供され、これらのコンポーネントを 1 つのライセンスで使用できます。VMware vSphere with Operations Management のライセンスが適切に付与されたプロセッサを使用するすべての仮想マシンは、両方のコンポーネントを使用できます。vSphere with Operations Management のコンポーネントを分離することはできません。vSphere with Operations Management の各エディションに含まれる 2 つのコンポーネントは、単一のライセンス権限で機能します。アップグレードは、エディションごとに行うか、アドオンを介してのみ可能です。vSphere および VMware vRealize Operations™ のコンポーネントを個別にアップグレードすることはできません。

ライセンス管理

VMware vSphere® 6 および vSphere with Operations Management™ 6.2 のライセンスは、25 文字の英数字からなる単純なライセンス キーで提供されます。これには、購入した vSphere または vSphere with Operations Management のエディション またはキット、およびプロセッサ数に関する暗号化された情報が含まれています。これらのライセンス キーにはサーバ固有の情報は含まれておらず、特定のハードウェアにも関連付けられていません。つまり、物理プロセッサの合計数がライセンス キーにエンコードされたライセンス数を超えないかぎり、複数の vSphere および vSphere with Operations Management ホストに同じライセンス キーを割り当てることができます。

耐障害性を持つライセンス管理

VMware vCenter Server は、vSphere および vSphere with Operations Management のホストにライセンスを割り当てる際の推奨インターフェイスです。vCenter Server™ によってライセンス キーが割り当てられると、ライセンス キーはホストにコピーされ、永続的な形式で保存されます。したがって、ホストと vCenter Server の接続が切断され、ホストを再起動したとしても、ホスト上のライセンス キーは無期限に有効な状態を維持します。ホストのライセンス キーを削除または置き換えるには、ユーザーが意図的にライセンスを操作する必要があります。

ホスト別ライセンス管理オプション

VMware は、お客様が VMware vCenter Server を使用して、すべての vSphere および vSphere with Operations Management のライセンスを統合して割り当てることを推奨しています。

ただし、vSphere のお客様は、個々のホストにライセンス キーを直接割り当てるすることができます。直接割り当てられたライセンス キーと、統合管理によって割り当てられたライセンス キーに違いはありません。vCenter Server のインベントリに vSphere ホストまたは vSphere with Operations Management ホストを追加した場合も、vCenter Server を介してライセンス キーを直接追加した場合と同様に、このホスト上の既存のライセンス キーを使用して vCenter Server 内で管理、レポート作成、割り当てを実行できます。ライセンスの詳細については、<https://www.vmware.com/jp/support/support-resources/licensing/> (英語) を参照してください。

例: 新しいホストへの vSphere with Operations Management 6.2 ライセンスの適用

お客様が 2 個の CPU (各 6 コア) と 128 GB の物理メモリを搭載している 2 台のホストをお持ちで、vSphere with Operations Management 6.2 の Enterprise Plus Edition のライセンスをご希望とします。物理 CPU にはそれぞれに 1 ライセンスが必要なため、vSphere with Operations Management 6.2 Enterprise Plus が 4 ライセンス必要となります。仮想マシンの台数、仮想メモリ (vRAM) の量、物理コア数、物理メモリの量が増えても、ライセンスを追加する必要はありません。

パッケージの概要

VMware は、スケーラビリティ、導入規模、使用環境などのお客様固有の要件に合わせて、複数のパッケージオプションを用意しています。

vSphere および vSphere with Operations Management の各エディション

vSphere および vSphere with Operations Management は、3 種類のエディションから選択できます (図 1 を参照)。エディションを購入する場合は、サポートおよびサブスクリプション (SnS) 契約を別途購入する必要があります。

vSphere Standard Edition は、基本的なサーバ統合を行うためのエントリ レベルのソリューションを提供します。アプリケーションの展開にかかる時間を短縮しながら、ハードウェアのコストを削減できます。

vSphere Enterprise Plus Edition は、vSphere のすべての機能を提供します。データセンターを大幅に簡素化されたクラウド インフラストラクチャに変換し、柔軟性と信頼性を備えた次世代の IT サービスによって既存のアプリケーションを実行できるようにします。

vSphere with Operations Management Enterprise Plus Edition は、vSphere のすべての機能を提供します。データセンターを大幅に簡素化された仮想インフラストラクチャに変換し、柔軟性と信頼性を備えた次世代の IT サービスによって既存のアプリケーションを実行できるようにします。クラス最高の管理機能により、IT 部門は統合コンソールを使用して、仮想環境の状況を詳細に確認し、パフォーマンスの問題をプロアクティブに検出および修正して、リソースの使用を最適化することができます。

vSphere および vSphere with Operations Management の各エディションの価格設定、およびご購入に関する詳細については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。

http://www.vmware.com/go/jp_partner

機能	vSphere		vSphere with Operations Management
	Standard	Enterprise Plus	Enterprise Plus
ハイパーバイザー	●	●	●
vMotion®、Storage vMotion、および X-Switch vMotion	●	●	●
High Availability および Fault Tolerance	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分	仮想 CPU 4 個分
Data Protection™ および Replication ¹	●	●	●
vShield Endpoint™	●	●	●
Virtual Volumes と Storage Policy-Based Management	●	●	●
vSphere APIs for Storage Awareness	●	●	●
vSphere APIs for Array Integration および vSphere APIs for Multipathing	●	●	●
Distributed Resource Scheduler™ (DRS) および Distributed Power Management™ (DPM)		●	●
Big Data Extensions		●	●
Distributed Switch™		●	●
Storage DRS™		●	●
Network I/O Control、Storage I/O Control、および SR-IOV		●	●
ホスト プロファイルおよび Auto Deploy		●	●
Flash Read Cache™		●	●
Cross-vCenter vMotion および Long Distance vMotion		●	●
コンテンツ ライブラリ	●	● (テンプレートによる展開)	●
vGPU		●	●
vSphere の監視 *			●
キャパシティの最適化 *			●
運用の視認性 *			●

図 1 : vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6.2 のエディション

* vSphere の監視、キャパシティの最適化、および運用の視認性の各機能は、VMware vRealize™ Operations™ Standard にも含まれています。

¹ vSphere Data Protection Advanced で提供していた高度なバックアップ機能 (アプリケーション対応エージェント、レプリケーション、Data Domain との連携など) は vSphere Data Protection™ に組み込まれています。

VMware Integrated OpenStack

vSphere Enterprise Plus および vSphere with Operations Management Enterprise Plus をご利用のお客様は、VMware Integrated OpenStack を無償でご利用いただけます。VMware Integrated OpenStack のサポートはオプションでの提供となり、CPU 単位で別途ご購入いただく必要があります。詳細については、<http://www.vmware.com/jp/products/openstack.html> を参照してください。

VMware vSphere Hypervisor

VMware vSphere Hypervisor は無償の製品です。コストをかけずにシンプルかつ容易に仮想化を導入できます。vSphere Hypervisor は、基本的な仮想化機能のみを提供しており、わずか数分でサーバを仮想化して仮想マシン上でアプリケーションを実行できるようにします。vSphere Hypervisor は vCenter Server に接続できないため、統合管理を行うことはできません。ユーザーは、vSphere Client を使用して、個々の vSphere Hypervisor ホストをリモート管理できます。物理 CPU 1 個あたりのコア数、ホスト 1 台あたりの物理 CPU 数、サーバまたはホスト 1 台あたりの RAM 容量に制限はありません。仮想マシン 1 台あたりの仮想 CPU の最大数は 8 個です。

VMware vSphere Desktop

vSphere Desktop Edition は vSphere のエディションの 1 つで、VDI 環境向けの vSphere ライセンスとして設計されており、vSphere Enterprise Plus Edition™ のすべての機能を提供します。VDI 環境でのみ使用でき、View とその他のサードパーティ製 VDI コネクション プローカーのどちらとも連携できます。

vSphere Desktop Edition は、パワーオン状態のデスクトップ仮想マシンの合計数を基準としてライセンスが付与され、デスクトップ仮想マシン 100 台を単位として単体で、または View バンドルの一部としてご購入いただけます。詳細については次の Web サイトを参照してください。

http://www.vmware.com/jp/products/desktop_virtualization/view/howtobuy.html

vSphere および vSphere with Operations Management Acceleration Kit

vSphere および vSphere with Operations Management Acceleration Kit は、VMware 環境を新たに立ち上げるために必要なすべてのコンポーネントをまとめて購入できる、便利なオールインワンバンドルです (図 2 を参照)。各キットには、vSphere または vSphere with Operations Management がプロセッサ単位で 6 ライセンス、vCenter Server Standard のライセンスが 1 インスタンス分含まれています。

1 つのパッケージとして機能する Essentials Kit や VMware vSphere 4.x Acceleration Kit とは異なり、vSphere および vSphere with Operations Management Acceleration Kit では、キット内のコンポーネントを別々に取り扱うことが可能です。お客様は、ご自身のスケジュールに合わせて、コンポーネントごとに SnS をアップグレードおよび更新することができます。最新の Acceleration Kit の詳細については、認定リセラーにお問い合わせください。

VMware vSphere Essentials Kit

VMware vSphere Essentials Kit は、小規模環境 (2 CPU のホスト 3 台まで) 向けのオールインワン ソリューションで、Essentials と Essentials Plus の 2 つのキットがあります (図 2 を参照)。各キット

には、vSphere がプロセッサ単位で 6 ライセンス、vCenter Server Essentials のライセンスが 1 インスタンス分含まれています。拡張の制限はキットごとに異なります。上限を上げるには、キット全体を Acceleration Kit にアップグレードする必要があります (「エディションの有償アップグレード」セクションを参照)。Essentials と Essentials Plus の各キットは独立した包括的なソリューションであるため、分割することや、ほかの vSphere のエディションと組み合わせて使用することはできません。

vSphere Essentials Kit は、小規模オフィスに最適なオールインワン ソリューションです。少ない先行投資で、アプリケーションの統合と管理が可能で、ハードウェア コストと運用コストを削減できます。Essentials Kit を購入する場合は、ソフトウェアのパッチやアップデートが提供される 1 年間のサブスクリプション契約を別途購入する必要があります。サポートはオプションでの提供となり、インシデント単位で購入できます。

vSphere Essentials Plus Kit には、vSphere Essentials の機能以外に、vSphere vMotion®、vSphere HA、vSphere Data Protection™ など、さまざまな機能が追加され、小規模環境を対象にダウンタイムなしの IT を実現します。Essentials Plus Kit は、ハードウェア コストと運用コストの削減に加え、アプリケーションの可用性とビジネス継続性の大幅な向上を少ない先行投資で実現したい小規模企業に最適です。Essentials Plus Kit の SnS は別売です。少なくとも 1 年間の SnS が必須となります。

	vSphere Essentials Kit		vSphere Acceleration Kit		vSphere with Operations Management Acceleration Kit
	Essentials	Essentials Plus	Standard	Enterprise Plus	Enterprise Plus
内容					
vSphere	6 CPU	6 CPU	6 CPU	6 CPU	6 CPU
vCenter Server	vCenter Server Essentials × 1 インスタンス	vCenter Server Essentials × 1 インスタンス	vCenter Server Standard × 1 インスタンス	vCenter Server Standard × 1 インスタンス	vCenter Server Standard × 1 インスタンス
機能					
ハイパーバイザー	●	●	●	●	●
vMotion® および X-Switch vMotion		●	●	●	●
High Availability		●	●	●	●
Data Protection™ および Replication ¹		●	●	●	●
vShield Endpoint™		●	●	●	●
Fault Tolerance			仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分	仮想 CPU 4 個分
Storage vMotion			●	●	●
Virtual Volumes と Storage Policy-Based Management			●	●	●
vSphere APIs for Storage Awareness			●	●	●
vSphere APIs for Array Integration および vSphere APIs for Multipathing			●	●	●
Distributed Resource Scheduler™ (DRS) および Distributed Power Management™ (DPM)				●	●
Big Data Extensions				●	●
Distributed Switch™				●	●

	vSphere Essentials Kit	vSphere Acceleration Kit	vSphere with Operations Management Acceleration Kit
Storage DRS™		●	●
Network I/O Control、Storage I/O Control、および SR-IOV		●	●
ホスト プロファイルおよび Auto Deploy		●	●
Flash Read Cache™		●	●
Cross-vCenter vMotion および Long Distance vMotion		●	●
コンテンツ ライブラリ		● (テンプレートによる展開)	●
vGPU		●	●
vSphere の監視 *			●
キャパシティの最適化 *			●
運用の視認性 *			●

図 2 : vSphere 6 Essentials Kit、vSphere 6 Acceleration Kit、および vSphere with Operations Management 6 Acceleration Kit
 * vSphere の監視、キャパシティの最適化、および運用の視認性の各機能は、VMware vRealize™ Operations™ Standard にも含まれています。
 ¹ vSphere Data Protection Advanced で提供していた高度なバックアップ機能 (アプリケーション対応エージェント、レプリケーション、Data Domain との連携など) は vSphere Data Protection™ に組み込まれています。

VMware vSphere Remote Office Branch Office

vSphere Remote Office Branch Office Standard および vSphere Remote Office Branch Office Advanced は、分散したリモートサイトの IT インフラストラクチャに特化して設計された、vSphere のエディションです。サービス レベル、標準化、可用性、およびコンプライアンスを向上させることができ、各エディションには、仮想マシン 25 台分のライセンスが含まれています。仮想マシン単位の柔軟な価格モデルを採用しているので、各リモート サイトに必要な数のワークロードのみを展開できます。リモート オフィスや支社のサイトごとに最大 25 台の仮想マシンを展開可能です。サーバホストは、vCenter Server Standard を別途購入して管理することができます。

vSphere Remote Office Branch Office Standard では、高可用性を備えた IT インフラストラクチャをリモート サイトに構築することができます。このエディションには、vMotion、High Availability、Data Protection、Replication、Hot Add、vShield™ Endpoint、Fault Tolerance、Storage vMotion®、Virtual Volumes™、および Storage Policy-Based Management の各機能が含まれています。

vSphere Remote Office Branch Office Advanced では、サーバのプロビジョニングの迅速化、ホストの構成エラーの最小化、規制準拠に関する視認性の向上を複数のサイトにわたって実現できます。このエディションには、vMotion、High Availability、Data Protection、Replication、Hot Add、vShield Endpoint、Fault Tolerance、Storage vMotion、Virtual Volumes、Storage Policy-Based Management、ホスト プロファイル、Auto-deploy、および Distributed Switch の各機能が含まれています。

vSphere の各エディションおよびキットの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。

http://www.vmware.com/go/jp_partner

vCenter Server のエディション

vCenter Server は、vSphere 環境を完全なものにするために必要なコンポーネントで、vSphere 環境に統合管理機能を提供します。仮想マシンおよびホストを統合管理し、すべての vSphere 機能を有効にするには、vCenter Server のインスタンスが 1 つ必要です。

vCenter Server では、次のパッケージを提供しています。

- vCenter Server Essentials : vSphere Essentials Kit の統合管理
- vCenter Server Standard : 拡張性の高い管理機能により、vSphere 環境内のすべての仮想マシンの迅速なプロビジョニング、監視、オーケストレーション、および制御が可能。 **オペレーティングシステム インスタンス (OSI) 単位の vCenter Server 向け vRealize Log Insight を 25 ライセンス含む**

vCenter Server		
	Essentials	Standard
ホスト数	最大 3 台	無制限
管理対象の vSphere	vSphere Essentials および vSphere Essentials Plus	vSphere Standard、vSphere Enterprise Plus、vSphere with Operations Management Enterprise Plus、および vCloud Suite

図 3 : vCenter Server Essentials および vCenter Server Standard

vCenter Server の各エディションの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。

http://www.vmware.com/go/jp_partner

既存のお客様へのバージョンアップグレードの提供

有効な SnS 契約をお持ちの vSphere のお客様は、無償でバージョンを vSphere 6 にアップグレードできます。vSphere 6 にアップグレードするには、新しいエンドユーザー使用許諾書 (EULA) と vSphere 6 のライセンス モデルに同意する必要があります。

vSphere アップグレード センターにアクセスして、お客様に適したアップグレード方法について詳細をご確認ください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/upgrade-center/overview.html>

vSphere および vSphere with Operations Management のバージョンのダウングレード

- vSphere はバージョンのダウングレードが可能です。
- vSphere with Operations Management の vSphere コンポーネントは、4.x 以前のバージョンへはダウングレードできません。vSphere 5.x または 6.0 の任意のバージョン (My VMware ポータルでダウングレード)、および vRealize™ Operations™ Standard 5.6 ~ 6.0 のうち任意のバージョン (製品ダウンロードグループで入手可能な固定キーを使用) を実行できます。
- VMware vSphere Remote Office Branch Office™ は、バージョン 6.0 から 5.5 Update 2 にダウングレードできます。vCenter Server は、ESXi ホストと同等以上のバージョンである必要があります。たとえば、ESXi のバージョンが 5.5 Update 2 である場合、vCenter Server のバージョンは 5.5 Update 2 以降である必要があります。

無効な SnS (サポートおよびサブスクリプション) 契約を復元するには

期限切れの SnS をお持ちのお客様が、サポート対象のアップグレード版を購入するには、復元料金をお支払いいただく必要があります。復元料金は、次の基準に基づいています。

- 現在設定されている SnS 契約期間分の料金
- お客様の SnS 契約が無効であった期間分の料金
- お客様の SnS 契約が無効であった期間分の料金と復元する SnS 契約の見積もり日からの 1 年間の料金の合計金額の 20 % の料金

エディションの有償アップグレード

vSphere または vSphere with Operations Management の上位エディションへ有償でアップグレードすることが可能です。たとえば、vSphere Standard から vSphere Enterprise Plus または vSphere with Operations Management Enterprise Plus にアップグレードできます。お客様がサポート対象のライセンスを上位のエディションにアップグレードすると、元のライセンス キーは無効になり、アップグレードされたエディションに対応する新しいライセンス キーが発行されます。アップグレードの購入時に、アップグレードされたエディションに対応する SnS 契約もあわせて購入する必要があります。アップグレードする前のエディションに対応する SnS 契約の期間が残っている場合は、新しい SnS 契約にその期間を追加して、契約期間を延長することができます。既存契約の残りの期間が長いお客様のために、SnS は最短で 2 か月から契約することができます。このプロセスにより、SnS 契約、ライセンス キー、そして契約終了日がそれぞれ 1 つにまとめられます。

vSphere および vSphere with Operations Management Acceleration Kit は、購入後にキット内のコンポーネントをそれぞれ分割して使用できます。そのため、vSphere および vSphere with Operations Management Edition と同様の方法でアップグレードすることが可能です。Acceleration Kit を別の Acceleration Kit にアップグレードすることはできません。

vSphere の各エディションおよびキットの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。

http://www.vmware.com/go/jp_partner

FAQ

Q: vSphere with Operations Management 6.2 のライセンスの単位は何ですか

A: vSphere with Operations Management のライセンスはプロセッサ単位で付与されます。仮想マシン数、コア数、および物理メモリの量に制限はありません。

Q: vSphere with Operations Management を購入すると、ライセンス キーはいくつ付与されますか

A: vSphere with Operations Management は、ユーザーのライセンス ポータルで独立したライセンス権限として表示されます。この権限によりライセンス キーが 1 つ生成されます。ユーザーは vCenter Server 内で、このライセンス キーのアクティベーションを行います。

Q：vSphere および vSphere with Operations Management に対応した VMware Acceleration Kit はありますか

A：はい。vSphere および vSphere with Operations Management の 3 種類のエディションに対応した、3 種類の Acceleration Kit を提供しています。各キットには、vSphere または vSphere with Operations Management がプロセッサ単位で 6 ライセンス、vCenter Server Standard のライセンスが 1 インスタンス含まれています。

Q：単一の vCenter Server で、vSphere ホストと vSphere with Operations Management ホストの両方を管理できますか

A：VMware は、ライセンス管理とコンプライアンスの簡素化を実現するため、単一の vCenter Server のインスタンスで単一のエディションの vSphere with Operations Management を管理することを推奨しています。vCenter Server の 1 インスタンスで、vSphere with Operations Management の複数のエディション（または vSphere with Operations Management と vSphere / vCloud Suite® の両方）を稼動しなければならない混在環境の場合でも、コンプライアンスを維持することは可能です。混在環境でコンプライアンスを維持するには、使用する機能（VMware vRealize Operations Standard のキャパシティ管理機能など）のライセンスが、すべての仮想マシンに適切に付与されている必要があります。vSphere with Operations Management のライセンス（プロセッサ単位）、単体製品のライセンス（プロセッサ単位または仮想マシン単位）のどちらでも、仮想マシンに対して適切にライセンスを付与することができます。

Q：VMware vRealize Operations のライセンスを仮想マシン単位で使用し、vSphere with Operations Management のライセンスを CPU 単位で使用して、双方を同じ環境で運用することはできますか（vSphere with Operations Management を既存の VMware vRealize Operations 環境に追加するなど）

A：ライセンスがコンプライアンスを維持しているかぎり、問題はありません。

Q：ライセンスがプロセッサ単位で付与され、仮想マシン数、コア数、および物理メモリの量に制限がないという vSphere 6 のライセンス モデルは、vSphere 5.x と vSphere 6.0 に適用されますか

A：はい。vSphere 5.x や 6.0 をお使いの場合、コア数や物理メモリの量に制限はありません。vSphere with Operations Management にも同様に適用されます。

Q：vSphere 6 のライセンス モデルは、vSphere 4.x 以前の既存のライセンスに適用されますか

A：いいえ。vSphere の新しいライセンス モデルは、vSphere のライセンスを新規に購入する場合や、vSphere 4.x 以前のバージョンのライセンスを vSphere 5.x または vSphere 6.0 にアップグレードする場合にのみ適用されます。

Q：既存の vSphere 4.x 以前のバージョンのライセンスを vSphere 5.x または vSphere 6.0 にアップグレードする場合、vSphere 4.x のライセンス モデルを引き続き使用できますか

A：いいえ。アップグレードするには、vSphere 5.x または vSphere 6.0 の新しいエンドユーザー使用許諾契約書（EULA）に同意する必要があります。

Q：vSphere with Operations Management に含まれる vRealize Operations の機能を、vSphere with Operations Management のライセンスが割り当てられていないホスト上の仮想マシンに適用できますか

A：いいえ。vSphere with Operations Management に含まれる vRealize Operations の機能は、vSphere with Operations Management のライセンスが適切に割り当てられているホスト上の仮想マシンにのみ適用できます。それ以外のホスト上で稼動する仮想マシンに適用するには、別途ライセンスが必要になります。

Q：vSphere Desktop は、誰でも利用できますか

A：vSphere Desktop は、デスクトップ仮想化限定で vSphere のライセンスを新規に購入する、企業、教育機関、行政機関を含むすべてのお客様を対象としています。vSphere Desktop は、View バンドルの一部として提供されます。

Q：現在 vSphere Enterprise Plus を使用して、サードパーティ製のデスクトップ仮想化ソリューションを展開しています。今後も同様に使用できますか

A：はい。現在、サードパーティ製の仮想デスクトップ環境のバックエンドとして vSphere を使用しているお客様は、今後も同様に使用できます。

Q：vSphere Desktop を使用して、サードパーティ製のデスクトップ管理ツールとインフラストラクチャ ツール、またはサードパーティ製のデスクトップ用サーバ製品を実行できますか

A：vSphere 6 のエンドユーザー使用許諾書に記載のとおり、単体で販売される vSphere Desktop は、仮想デスクトップ インフラストラクチャ環境で使用する仮想デスクトップ マシン、デスクトップ管理ツール、またはデスクトップ監視ツールをホストする目的でのみ使用できます。

Q：新たに vCenter Server に含まれる vRealize Log Insight には、
どの機能が含まれますか

A：vCenter Server Standard のすべてのお客様を対象に、vCenter Server には、オペレーティング システム インスタンス (OSI) 単位の vRealize Log Insight™ が 25 ライセンス含まれています。vCenter Server に含まれる vRealize Log Insight は、物理サーバ、ネットワーク デバイス、ストレージ デバイス、オペレーティング システム、アプリケーションなどからログ データをキャプチャします。また、問題を迅速に解決するための予測分析機能も提供します。vCenter Server に含まれる vRealize Log Insight は vSphere 製品群向けに構築されており、vSphere および vCenter Server を対象に、強力なビッグデータのログ管理機能を備えています。

購入方法

vSphere および vSphere with Operations Management の各エディションとキットの価格設定、およびご購入に関する詳細については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/pricing.html>

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vSphere のドキュメントを参照してください。



VMware株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2016 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は米国および国際著作権法・知的財産権法により保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている1件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム No. : VMW0850-VMW-WP-vSPHR-vSOM-PRICING-A4-162

2016/02